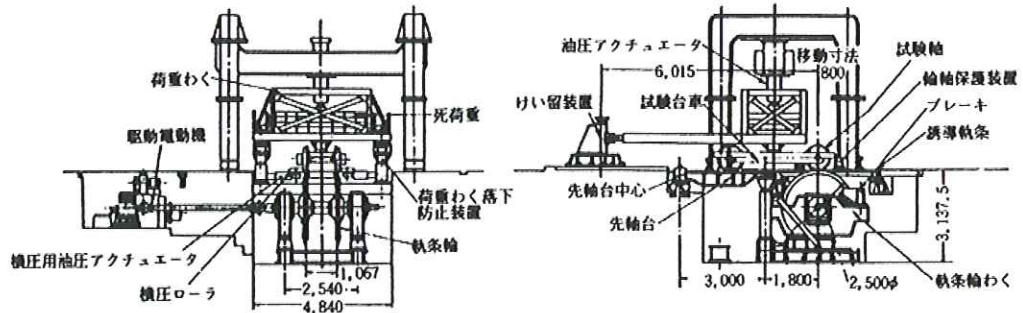
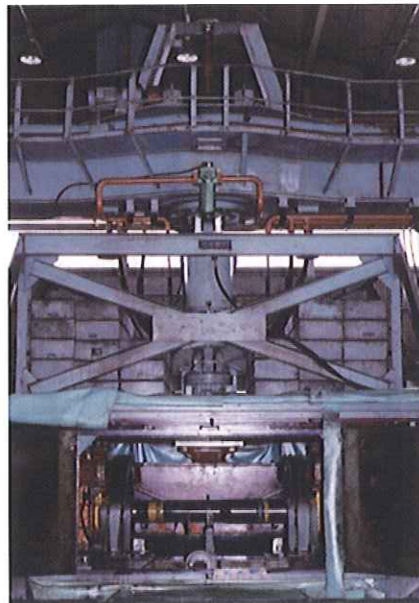


名称	輪軸疲労試験装置																			
概要	<p>実物大輪軸の疲労強度などを調査するための試験装置です。軌条輪装置、油圧源装置、垂直荷重負荷装置、横圧（水平荷重）負荷装置、運転・制御装置および試験用台車により構成されます。試験用台車に組み込んだ試験輪軸には、垂直荷重だけでなく横圧を負荷することができ、また、一定荷重下だけでなく変動荷重下の疲労試験を行うこともできます。</p>																			
特徴・諸元	<p>・試験輪軸を台車に組み込んだ状態、すなわち現車に近い状態で疲労試験を行うことができます。</p> <p>・軌条輪を交換することによって、標準軌（軌間＝1435mm）と狭軌（軌間＝1067mm）の輪軸に対応することができます。</p> <p>◆主要諸元</p> <table border="1" data-bbox="336 584 1442 969"> <tr> <td>〔軌条輪軌間〕</td> <td>1067mm、1435mm</td> </tr> <tr> <td>〔軌条輪直径〕</td> <td>2500mm</td> </tr> <tr> <td>〔試験速度〕</td> <td>60～250km/h</td> </tr> <tr> <td>〔垂直荷重負荷装置〕</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 静荷重</td> <td>最大392kN（アクチュエータ） 最大490kN（死荷重）</td> </tr> <tr> <td> 変動荷重</td> <td>±196 kN（アクチュエータ）</td> </tr> <tr> <td>〔横圧負荷装置〕</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 静荷重</td> <td>73.5kN（アクチュエータ）</td> </tr> <tr> <td> 変動荷重</td> <td>±24.5kN（アクチュエータ）</td> </tr> </table>		〔軌条輪軌間〕	1067mm、1435mm	〔軌条輪直径〕	2500mm	〔試験速度〕	60～250km/h	〔垂直荷重負荷装置〕		静荷重	最大392kN（アクチュエータ） 最大490kN（死荷重）	変動荷重	±196 kN（アクチュエータ）	〔横圧負荷装置〕		静荷重	73.5kN（アクチュエータ）	変動荷重	±24.5kN（アクチュエータ）
〔軌条輪軌間〕	1067mm、1435mm																			
〔軌条輪直径〕	2500mm																			
〔試験速度〕	60～250km/h																			
〔垂直荷重負荷装置〕																				
静荷重	最大392kN（アクチュエータ） 最大490kN（死荷重）																			
変動荷重	±196 kN（アクチュエータ）																			
〔横圧負荷装置〕																				
静荷重	73.5kN（アクチュエータ）																			
変動荷重	±24.5kN（アクチュエータ）																			
担当部署	<p>車両構造技術研究部 車両強度</p>																			

輪軸疲労試験装置



輪軸疲労試験装置模式図